

広報

しんち

4月1日現在
()内は前月比

↑	男女	2,087世帯 (-8)
	合計	4,426人 (-8)
		4,573人 (-7)
		8,999人 (-15)

179号
61/5



相馬警察署管内では、三月十四日から四月十六日の三十六日間に三人もの犠牲者を出しており、「交通事故多発警報」を発令しました。町としても関係団体と協力し、総力をあげて重大事故防止に取りくんでいくことにしています。

写真は四月七日に町内の各小学校前で行われたミニテント村からのひとコマ。真新しいランドセルを背負い、チヨンピリ緊張気味の新一年生に、交通安全の会の会員が「交通事故に気をつけてね!」と声をかけ、事故防止のチラシなどが手渡されました。

朝の街頭指導、交通安全テンント村、パトカー体験同乗など、今年も春の全国交通安全期間中は、多催な催しで交通安全をよびかけました。しかし、その最終日にあたついた四月十五日町内で居眠り運転による交通事故が発生、その翌日には右折バイクと大型トラックが衝突と、重大事故が連続して発生しました。

環境美化と健康



▲ 検診会場で

町民の健康管理の推進役である、保健補導員の総会が四月三日老人憩の家で開かれ、三十八名の方々に町長から委嘱状が手渡されました。

保健補導員は、町が実施する健康診査や検診はじめ健康に関する各種の相談を通じ、地域住民の健康を守ることを目的としている。

保健補導員は、町長から「地域の人たちに呼びかける一方、保健指導を必要とする方の把握と保健婦への連絡などの保健活動を通じ、地域住民の健康を守ることを

健康管理の推進役

はりきる保健補導員さん

目的に、地域の婦人を中心として昭和三十五年から設けられています。ところでのほど間、町が実施する胃がん検診を受けている方の中から男性六十七名、女性四百八十七名（胃がん三百四十名、子宮がん二百四十七名）を抽出し、アンケート調査を行いました。

それによると、がん検診を受けない理由としては、「自覚症状がないから」「以前に受けた異状なしだったから」がそれに続いている。これは男女別、胃がん、子宮がん別と聞いて、同じ順位となっています。

また、献血実施状況をみても

昭和五十七年度以後、総人口に占める献血者の割合が激減しており、昨年度の採血者数は、最も多かった五十五年度とくらべ約半分の四百四十一人にとどまっています。

こうした結果からも、保健補導員の果たすべき役割が今後とも重要であるといえそうです。

年度別献血実施状況

資料：住民課

年度	献血割合(%)	採血者数(人)	不採血者数(人)
48	2.92	254	64
49	3.98	338	100
50	6.08	525	123
51	7.36	641	140
52	8.57	749 (53)	107 (5)
53	9.25	805 (69)	73 (4)
54	9.61	850 (72)	89 (6)
55	9.73	861 (67)	103 (9)
56	8.64	765 (47)	75 (7)
57	6.10	540 (39)	51 (0)
58	6.28	557 (46)	48 (4)
59	6.43	573 (89)	47 (6)
60	4.89	441 (57)	54 (6)

※()内は新地高校

がん検診アンケート調査

資料：住民課

理由	胃がん		子宮がん	
	男	女	男	女
自覚症状がないから	51	150	157	
忙しいから	22	64	77	
以前に受けて異状なしだったから	13	58	47	
バリュウムを飲むのがいやだから	10	45	—	
検診にいくのが面倒だから	9	34	46	

※複数回答

づくりの推進

いまにも降り出しそうなあいにくの天候でしたが、四月六日町内全域で環境美化運動がくり広げられました。

小中学生を含む約二千五百名の町民が早朝からゴミ収集袋を手に、地区内の空き缶、空きビンなどの回収を行い、おびただしい数のゴミが集められました。

「だれが、いつ捨てていったのか」と、この運動に参加するたび、腹立たしく感じられている方も多いと思います。

捨う身になつて捨てない心を養い、快適な生活環境にしよう

と始めた環境美化運動も、今年で三年目を迎えました。しかし心ない人が道路、山、川、海岸などに捨てていった空き缶、空きビンはなんと二トントラック四十八台分になりました。

環境美化と健康づくりは、昭和六十一年度の基本方針の中のひとつでもあります。今後も、ゴミを捨てない心が大きく育つまでボランティア活動として、この運動を続けていかなければなりません。

環境美化と健康づくりは、昭和六十一年度の基本方針の中のひとつでもあります。今後も、

5月の飛び石連休をうめる休日ができました
— 祝日法の改正 —



休日が1日ふえることになりました。とはいっても2つの条件がついています。まず前日と翌日が「国民の祝日」でなければなりません。現在は、5月4日だけがその日に当たります。またその日が日曜日や振替休日の時には、休日になりません。「なーんだ」と思われる方もいらっしゃるかもしれません、飛び石連休の間をうめるうれしい改正には違いません。

これは、国民の祝日に関する法律が一部改正されたことによるものです。

今年は5月4日が日曜日、来年は3日(憲法記念日)が日曜日なので、4日は振替休日となり、残念ながら、改正された祝日法は適用されません。そのため実際に恩恵をうけるのは昭和63年から、ということになります。

お楽しみはちょっと先ということになりますね。



町民がだれでも、どこでも参加できる、社会教育を

社会教育主事
古宇田栄増さん



4月の異動で岩瀬農業高校から新地公民館に赴任されました。41才。家族と離れ現在は相馬市に下宿生活。

このたび新地町の社会教育を担当することになりました。一日も早く町の情勢を把握し、町民のためになる仕事をやりたいと思います。

めまぐるしい社会変化の中で、町民が生きがいをもつて毎日の生活を送ることのできる条件作りをしたいと思います。町の発展は、公民館活動がどれだけ活発化しているかだと思います。社会教育の柱は公民館活動にあります。

人生八十年時代に生きがいを見出し、楽しく生きていくためにも地域でどのようにしたら良いかを考え、町民がだれでも、どこでも参加できる社会教育を実践して行きたく思いますので、よろしくお願い致します。

あなたを狙う甘いささやき

5月は「経済事犯取締り強化月間」です。



「短期間で、あなたの資金が二倍、三倍になります」
「これは、悪徳商法のセールスマンの言葉たぐみな『甘いささやき』です。この世にはこんな『うまい話』があるわけがないとわかつていても、つい話を聞いてしまう——五月は「経済事犯取締り強化月間」です。

悪徳セールスマンは、どんなことをささやき、あなたの財産を狙っているのでしょうか。

親切を逆手に取る
例えば、一人暮らしのお年寄りに近づき、話し相手になり、ときには肩をもんだり、風呂で背中を流したりします。お年寄りは、「自分の子供にもしてもらつたことがないのに、なんて親切な人だろう」と感激し、だんだんと心を許します。

このところからです。「おじいちゃん、すごくいい話があるんだ」「おかしな話だな」と思つても、こんな言葉で誘います。

**うまい話には
十分注意を**

相談する相手はいないし、話を聞いてくれるのは儲け話をもちかけたセールスマンだけというところから、事の真相がわかりません。また、親切な人が言うのだから間違いないだろうと判断してしまうことが多いようです。

そして、一たん契約を済ませると、セールスマンは高飛車になります。お年寄りがだまされるとわかつて「解約したい」といつてもとりあわず、逆に「違約金を払え」などとおどし始めます。これは、ほんの一例です。この世には、ぼろ儲けができる話はありません。うまい話には、必ず落とし穴があるということを忘れないでください。

特に、一人暮らしのお年寄りは新切ごかしに近づいてくるセールスマンには十分注意を。そして、おかしな話だなと思つたら必ず、家族や知人、警察に相談してください。

新緑の季節を向かえ、山は豊かな緑におわれているように映ります。しかし、一歩その中へ足を踏み込めてみると、いたるところで荒廃が目につきます。そのひとつ的原因に、松くい虫による被害があげられます。

昭和五十年度には、五百十六方メートル、本数で二千五百四十七本の松が切り倒されました。こうした伐倒駆除とヘリコプタ

大正十四年五月二十五日生。六十才。自宅は中島で奥さん長男夫婦、かわいいお孫さん二人の六人家族。林業の仕事は、旧新地村森林組合を振り出しに保安林監視員、松くい虫巡視員等々三十余年というベテラン。「緑が見直されてきたが、松くい虫がふえて大変だ。成虫が飛び立つ六月までに、全て伐倒すれば被害は減るのだが……。」

趣味は特にないが仕事を終えた後の晩酌が楽しみ。あまり飲むとお孫さんにコップを取りあげられる目を細めて話してくれました。

本年度より被害木の調査員に大堀馨さん(中島)を依頼し調査を行なっています。しかし、伐採には所有者の了解を得る必要があり、発見した時と実際に伐倒駆除する時期にかなりの時間的な差があり、その間に被害が広がっているという大きな問題があります。

そこで今年から「新地町松くい虫防除推進委員会」が発足しました。委員会は、被害の拡大を未然に防ぐため、地域ぐるみの対策を講じることを目的とし、

被害木の使用についての問い合わせがかなりあります。そのほとんどは、何十年も大切に育てた松なので、せめて何かに使用できないかというものです。たしかに、被害木を風呂たき等に使用している方もいます。しかし、六月以降になると切り倒した松の中にいたカミキリ虫が、ザイセンチユウを体につけて飛び出し、健全な松につくため被害が拡大してしまいます。そこで冬の間風呂たきなどに使用していた被害木も、五月中には全て焼却しなければなりません。

お知らせ
「間伐をしたいでも……」
各行政区より一名と関係団体の代表者等の計二十名による構成で、任期は一年です。防除の呼意については、委任状等により事前に了解を得ておくといふ方法も検討しており、早期発見、早期伐倒処理により新地町から松くい虫被害をなくし、緑を進めています。

また、伐倒駆除作業の中で大きな問題である「所有者の同意」については、委任状等により事前に了解を得ておくといふ方法も検討しており、早期発見、早期伐倒処理により新地町から松くい虫被害をなくし、緑を進めています。

一方、松くい虫による被害の経費は、一千万円をこえ町の財政からみて、大きな負担となっています。そこで、今年度は松くい虫による被害の拡大に歯止めをかけ、効果的な取り組みが期待されています。

**緑を愛し
地域ぐるみで
松くい虫をなくそう**



一による薬剤散布の経費は、一千万円をこえ町の財政からみて、大きな負担となっています。そこで、今年度は松くい虫による被害の拡大に歯止めをかけ、効果的な取り組みが期待されています。

また、伐倒駆除作業の中で大きな問題である「所有者の同意」については、委任状等により事前に了解を得ておくといふ方法も検討しており、早期発見、早期伐倒処理により新地町から松くい虫被害をなくし、緑を進めています。

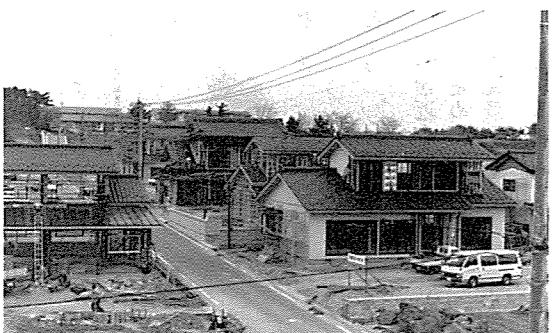
一方、松くい虫による被害の経費は、一千万円をこえ町の財政からみて、大きな負担となっています。そこで、今年度は松くい虫による被害の拡大に歯止めをかけ、効果的な取り組みが期待されています。

各行政区より一名と関係団体の代表者等の計二十名による構成で、任期は一年です。防除の呼意については、委任状等により事前に了解を得ておくといふ方法も検討しており、早期発見、早期伐倒処理により新地町から松くい虫被害をなくし、緑を進めています。

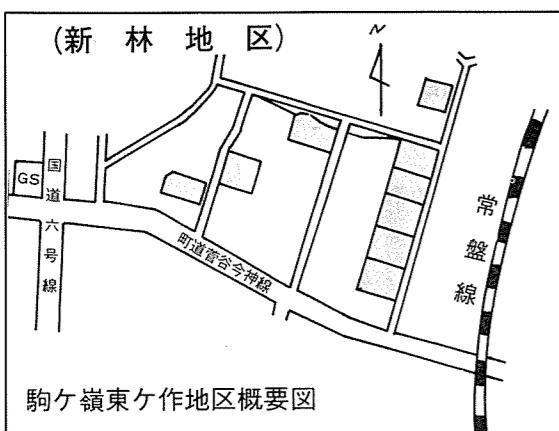
一方、松くい虫による被害の経費は、一千万円をこえ町の財政からみて、大きな負担となっています。そこで、今年度は松くい虫による被害の拡大に歯止めをかけ、効果的な取り組みが期待されています。

委員会スタート
松くい虫防除推進委員会スタート

皆さんの山林で間伐の時期がきている林がありましたが、五月三十一日まで役場農政課にお申し込みください。四万九千六百円が補助されます。詳しくは、役場農政課へお問い合わせください。



▲集団移転の進む新林地区



家族で話し合 図解 交通安全・バイク編

バイクを運転中に交通事故で死亡した人の64.5%は頭や顔を強く打って死亡しています。このことからも、ヘルメットをかぶらないことがどんなに恐ろしいことかよく分かります。

損傷部位別の死亡率

部位	割合
頭部	62.5%
顔面	2.0%
頸部	10.8%
胸部	13.6%
腹部	6.6%
腰部	2.3%
その他	2.2%

まだヘルメットを持ってない方は「JIS」や「S」マークの付いたものを選びましょう。工事用安全帽は、

頭を守る“命綱”ヘルメット

二輪乗車用ヘルメットではありますので使わないでください。

また、ヘルメットを有効に使うために、次のような点に注意してください。

- ①あみだにかぶったり、目深にかぶらない。視野が狭くなり、危険なものの発見が遅れます。
- ②あごひもは必ず、しっかりと締める。あごひもを締めてないと、事故のときヘルメットが飛んでしまい、頭を守れません。

バイクに乗るときは、必ずヘルメットをかぶる——これをぜひ習慣にしてください。

（注）「S」マークはSafetyの略。通常産業者が安全性を認めたもので、自動三輪用のヘルメットにこのマークを付けることが義務付けられています。

相馬地域開発に伴う、移転者向け代替宅地の安全祈願祭が、四月十四日駒ヶ嶺東ヶ作地区内で行われました。

東ヶ作地区は、先に造成が完了し、集団移転の準備が着々と進んでいる新林地区に隣接し、町道菅谷今神線の北側に位置する畠地であったところで、九戸の移転者を予定しています。今回造成される代替宅地の総面積は、約八千九百平方メートル

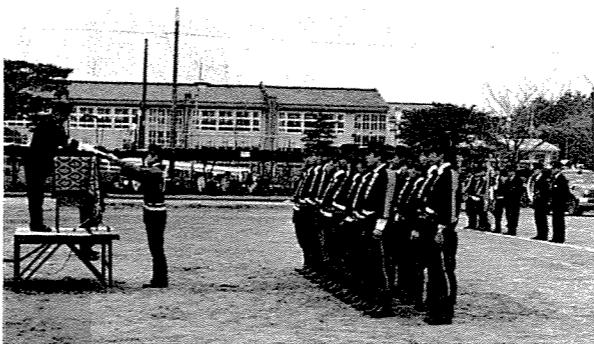
ルで、一区画はすべて九百九十五平方メートルとなっています。完成は七月上旬の見込みです。

安全祈願祭には、移転希望者をはじめ、土地のご協力をいただいた地元の方々、また工事関係者など五十名が出席しました。

神事に引き続き、佐久間土地開発公社理事長、荒町長らがクワ入れを行い、さらに移転希望者らが玉ぐしきさきげ工事の安全



相馬開発

東ヶ作団地で
安全祈願祭▲辞令を受ける新入団員
(代表 第一分団第一部 斎藤利宏さん)▲日本消防庁長官表彰を受けられた、荒百三第三分団長
消防団春の検閲式が4月20日、公民館グラウンドで
行われました。はじめに30名の新入団員に辞令を交付
し、続いて通常点検を受けました。

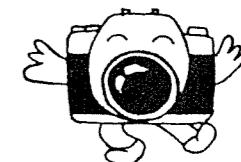
また、式の中で日本消防庁長官表彰の伝達、25年無火災の上ノ町部落と、消防施設協力者の寺島吉光さん(大戸浜)に町から表彰状を贈りました。



▲「右を見て、左を見て、そしてもう一度左を見て」と新地駐在所に赴任間もない吉田さんの声に力が入ります。(福田小学校交通教室より)

トピックス

トピックスは、町内での話題をカメラリポートするコーナーです。みんなのまわりにある話題を、役場総務課までお寄せください。

▲お母さん・お父さんと記念撮影
(福小学校入学式より)▲みんな小さな紳士ですね
(駒ヶ嶺小学校入学式より)

3/21~4/20 届出



△出生(届出は14日以内に)
おめでとうございます。

(子供) (親) (地区)

聰志	野地	克彦	小川
克行	加藤	優	岡
靖也	荒	忠	木崎
勝剛	目黒	和幸	小川
司	目黒	后省	小川

△死亡(届出は7日以内に)
おくやみ申し上げます。

(死亡者) (年齢) (地区)

宇佐美ツル子	62才	岡
寺島常雄	79才	駒ヶ嶺町
村松みどり	81才	渋民干
門馬武雄	61才	今

今月の納税等		
水道料	国民年金	第一期
納期限は	駒ヶ嶺地区と	新地地区(岡、 杉目を除く)
※忘れずに納めてください 5月31日です。		

20日	18日	17日	16日	15日	14日	11日	10日	9日	5日	4月	30日	29日	28日	27日	26日	25日	24日	23日	22日	3月
消防団春季検閲式											新地小学校修業式									
農業振興対策協議会、老											鈴木省吾法相就任祝賀会									
人クラブ連合会総会											農地等集団化促進協議会									
町政懇談会(新地町)											相馬港湾建設促進研修会									
会、町政懇談会(杉目)											相馬・新地保育所満了式									
農業委員会											相馬北部土地改良区総代									
県土地改良区連合会役員											会、広域市町村圏組合管									
ボランティア連絡協議会											理者会									
親会											県土地改良区連絡協議会総会									
真弓婦人会老人会合同懇											保育所連絡協議会総会									
会											相馬北部土地改良区総代									
ボランティア連絡協議会											会									
親会											会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									
ボランティア連絡協議会											ボランティア連絡協議会									
親会											ボランティア連絡協議会									